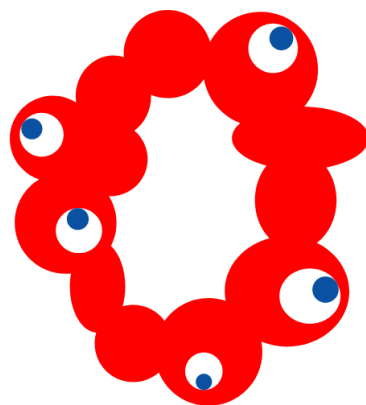




OSAKA, KANSAI, JAPAN

EXPO
2025

2025年日本国際博覧会

フェスティバル・ステーション 利用ガイド

第1版

2025.2

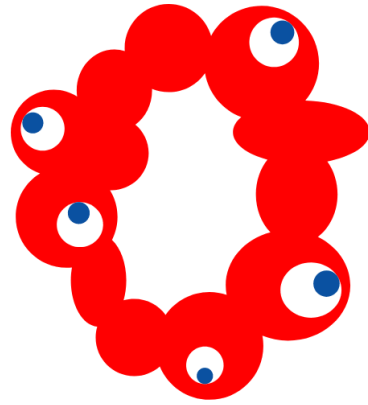
※本ガイドの記載内容は、2025年2月現在のものです。
今後、変更などが生じる可能性がありますのでご了承ください。

INDEX

I	基本概要	
	1) 催事参加にあたって	3
	2) 行催事コンセプト	4
	3) 催事施設一覧	5
II	施設概要	
	1) 施設概要	7
	2) 施設図面	8
	3) 使用可能スペース	11
	4) レイアウト例	15
	5) ステージエリア概要	16
	6) 施設常設設備・備品	17
	7) 仮設電源設備	22
	8) 通信環境	23
	9) 利用料金	25

本書での記載

大阪・関西万博 または 万博	『2025年日本国際博覧会』の略
博覧会協会 または 協会	『公益社団法人2025年日本国際博覧会協会』の略
催事	催事施設で実施されるさまざまな事業や催事の総称
催事主催者	催事の出演者、催事スタッフ、催事関係者、各事務局・代理店などを含む催事施設の利用者の総称
催事管理センター	本書で示す催事施設の管理運営を行う組織
実施運営	本番にむけた搬入作業・運営・搬出作業に至る催事主催者によるすべての作業の総称



OSAKA, KANSAI, JAPAN

EXPO
2025

フェスティバル・ステーション
利用ガイド

I

基本概要

1) 催事参加にあたって

◇催事主催者の皆様へ

「フェスティバル・ステーション利用ガイド」(以降「本ガイド」と称します)は、皆様にフェスティバル・ステーションで催事を実施していただくにあたり、事前準備から実施に至るまで、円滑な作業を行っていただくためのものです。記載内容を充分にご理解のうえ、実施運営の計画、作業を進めてください。
なお、本ガイドの記載内容は、2025年2月現在のものです。今後、修正、変更が生じる可能性があることをご了解ください。なお、記載事項に修正・変更が生じた場合は、あらためてお知らせいたします。

大阪・関西万博会場での催事実施には、順守や配慮が必要なさまざまな事項がございます。本ガイドや万博の各規定類を充分にご理解の上、実施される催事はもとより万博来場者の安全面にも配慮した、円滑な実施運営を行ってください。

- ① 事前準備から実施運営まで催事主催者の責任において行ってください。
- ② 作業に伴い催事施設の外観、設備などに変更を生じさせた場合は、原状回復を行ってください。万一、設備などを損傷・汚損・紛失した場合は、全ての損害を補償していただきます。
- ③ 定められた期限までに実施計画書類を提出してください。
- ④ 事前打ち合わせ、現場下見、実施運営など、作業で万博会場内に立ち入るには、関係者入場証(AD証)などの各種申請が必要となります。
- ⑤ 万博会場の開場時間は、9:00~22:00です。(催事実施時間の設定については、後述します)
実施運営にあたっては起こりうるさまざまな状況を想定し、安全対策を行ってください。また、催事主催者には各種保険への加入が義務付けられています。
- ⑥ 大阪・関西万博は、『いのち』という原点に立ち戻り、自らと他者のいのちを意識し、そして自然界の中で生かされるさまざまないのちに向き合い、世界が持続する未来を模索する場となります。また、転換期ともなるこの時代において、万博という場で世界が一つとなることに意義があり、いのち輝く未来社会のありようを共有することは2025年以後の世界の新たな一歩となります。これらの実現を念頭に、催事の準備、実施を行ってください。
- ⑦ 大阪・関西万博は、「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマと「多様でありながら、ひとつ」という会場デザインコンセプトを踏まえ、国・地域、文化、人種、SOGIESC、世代、障がいの有無などに関わらず個々の価値観や個性を尊重し、大阪・関西万博を訪れる世界中の人々が利用しやすいユニバーサルデザインの実現をめざしています。そのため、万博会場内では、高齢者やハンディキャップがある方々に対してバリアフリーを推進しています。全ての人々に対するバリアフリーに配慮した催事の実施運営を行ってください。
- ⑧ フェスティバル・ステーションでは以下の催事および催事に係る行為を禁止します。
 - a. 実施内容について、公序良俗に反する内容、法律・条約などに違反する内容
 - b. 警備上問題があると思われる内容
 - c. 特定の国、団体、企業に対しての誹謗や中傷
 - d. 来場者や施設などに危険が及ぶと思われる内容
 - e. 応募企画から極端に逸脱する内容
 - f. 上記に掲げるもののほか、管理運営上支障があると認められる内容
- ⑨ 催事実施時には本ガイドおよび各種ガイドラインの規定遵守を原則とします。内容について、不明瞭な点などが生じた場合はお申し出ください。

2)行催事コンセプト

大阪・関西万博における行催事の役割

万博は科学・技術の博覧会だけではない。
個の挑戦＝誰かの一步が、
鼓動・震えが集まり、感動と共鳴を生み出し、
人類の未来を動かす

大阪・関西万博の行催事でつくる循環
次のいのちへとつなげていく
“未来への循環の場”

行催事コンセプト

THAT ONE STEP WILL SHIFT THE FUTURE.

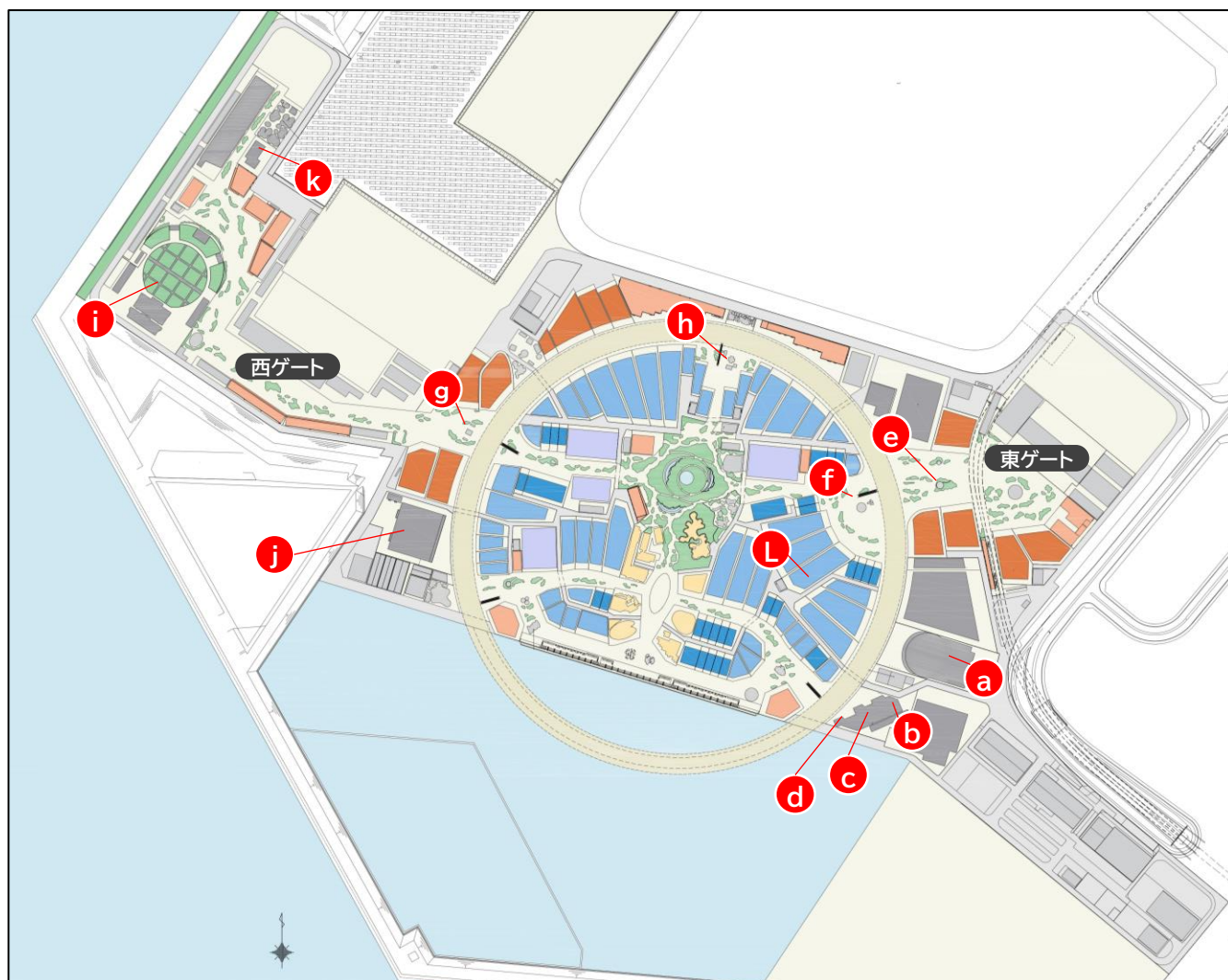
その一步が、未来を動かす。

万博へ参加する人たちに、「未来にいのちをつなぐ一步」のきっかけをつくる。

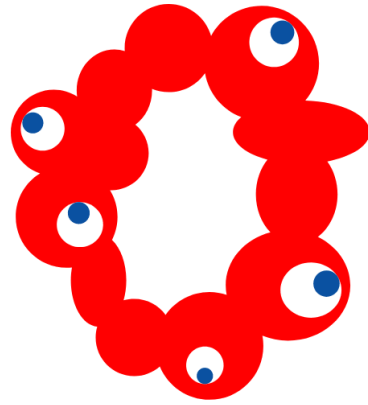
ステートメント

- 01 **その一步は、自らの意思か？**
- 02 **その一步は、未知なる体験か？**
- 03 **その一步は、自分の殻を破れるか？**
- 04 **その一步は、誰かの心を震わせるか？**
- 05 **その一步は、未来につながる挑戦か？**

3) 催事施設一覧



	正式名称「愛称」※愛称は設定されているもののみ	旧名称	施設内容	屋内・屋外
a	EXPO ホール「シャインハット」	大催事場	円形劇場 客席:約1,900席	屋内
b	EXPO ナショナルデーホール「レイガーデン」	小催事場	ナショナルデー/スペシャルデー式典の 主会場となる半開放型ホール 客席:約480席	屋内 (半開放型)
c	ギャラリー EAST	日本伝統文化エリア 1F展示場	屋内展示場 床面積:床面積:292.5㎡(展示室) 41.7㎡(控室)	屋内
d	ポップアップステージ 南	日本伝統文化エリア 小舞台	屋根付き屋外舞台 観覧スペース:ステージ前広場	屋外
e f g h	ポップアップステージ 〈e〉東外／〈f〉東内／〈g〉西／〈h〉北	小規模なステージ	約50㎡の屋根付きステージ 観覧スペース:ステージ前通路、広場	屋外
i	EXPO アリーナ「Matsuri」	屋外催事広場	屋根付きステージ+広場 立見席:約16,000人	屋外
j	EXPO メッセ「WASSE」	メッセ	屋内展示場 床面積:約2,000㎡(1区画)×2区画 ※総床面積約4,000㎡	屋内
k	ギャラリー WEST	ギャラリー	屋内+屋外展示場 床面積:屋内展示スペース約200㎡、 屋外展示スペース約300㎡、 屋内展示スペース約100㎡	屋内・屋外
L	フェスティバル・ステーション	—	展示ギャラリー [1.屋内イベントスペース] 展示仕様:約800名 [2.体験型イベントブース] 1ブース9名程度	屋内



OSAKA, KANSAI, JAPAN

EXPO
2025

フェスティバル・ステーション
利用ガイド

II

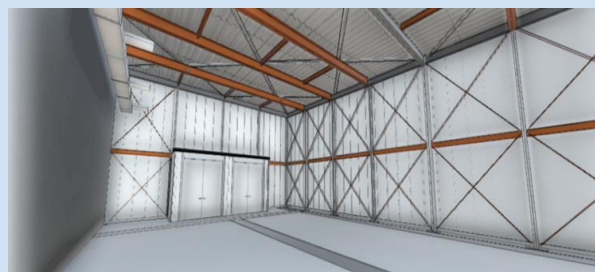
施設概要

1)施設概要

L フェスティバル・ステーション



外観イメージ



屋内イメージ

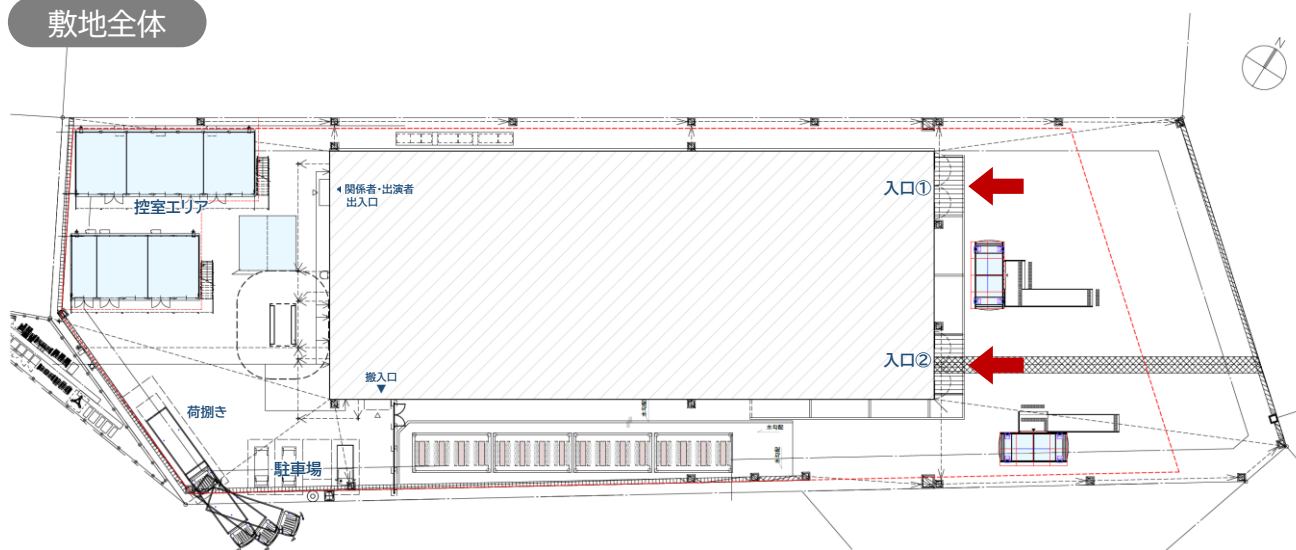
※デザイン調整中

建築概要	鉄骨造 展示ギャラリー
収容人数	[1.屋内イベントスペース] 展示仕様:約800名 [2.体験型イベントブース] 1ブース9名程度
展示面積	[1.屋内イベントスペース] 1061.93㎡ (天井有効高5m) [2.体験型イベントブース] 13.4㎡×2棟
設備概要	[1.屋内イベントスペース] 音響、照明、LEDビジョン [1・2共通] 出展者用控室、関係者用トイレ など
備考	[1・2共通] 全エリア禁煙 [1.屋内イベントスペース] 客席(通路含む)内及びステージ上は、ペットボトルなどの蓋つき飲料以外の飲食禁止

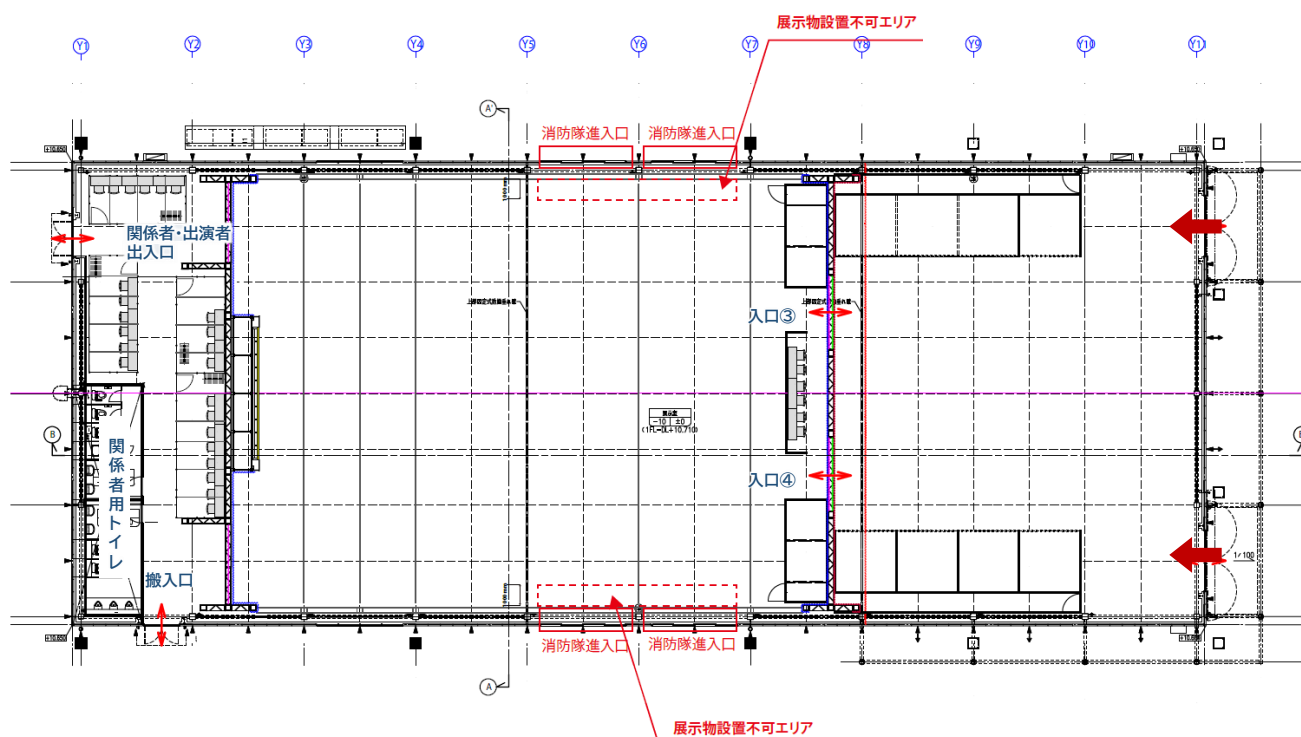
2)施設図面

平面図

敷地全体



屋内

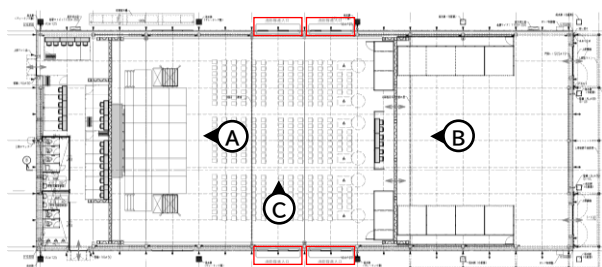


← : 来場者出入口

2) 施設図面

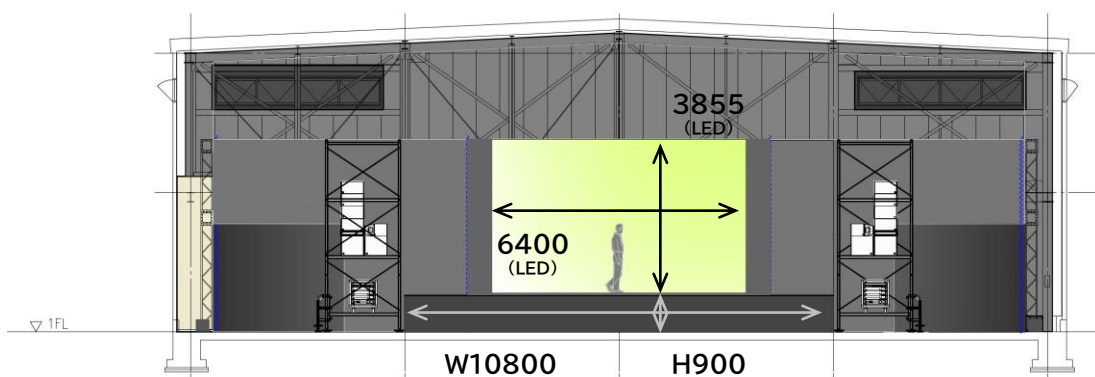
1. 屋内イベントスペース

断面図

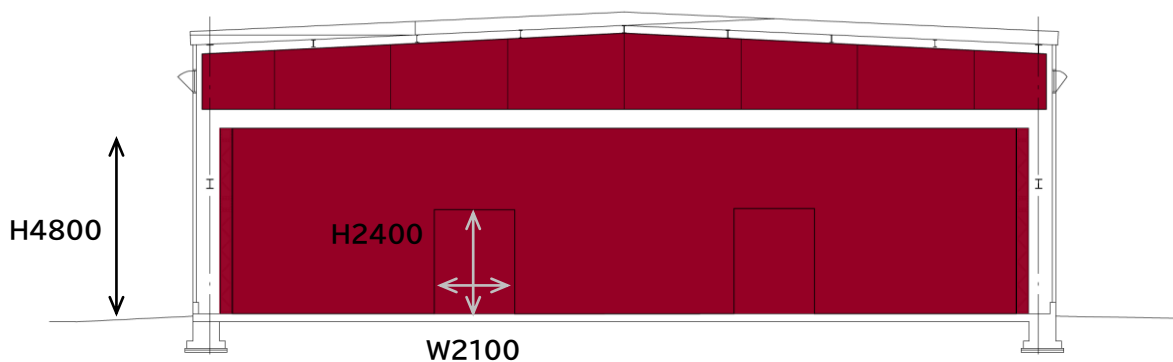


消防隊進入口(4か所)

①



②



③

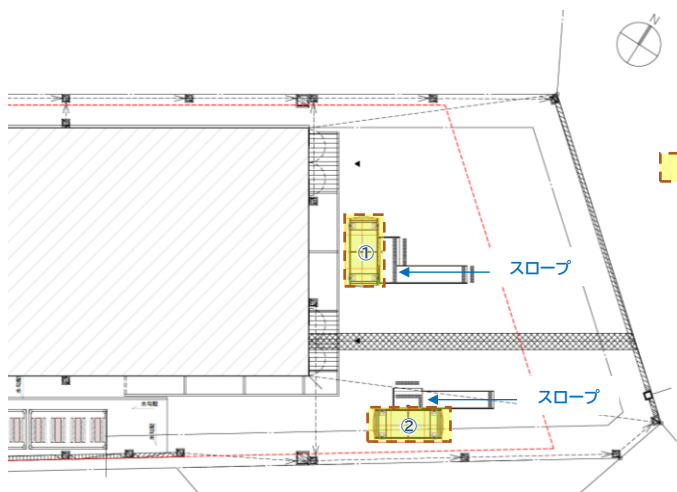
消防隊進入口
屋内イベントスペース左右壁面各2か所(計4か所)



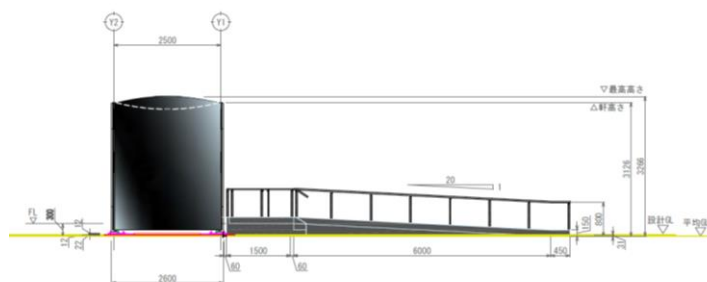
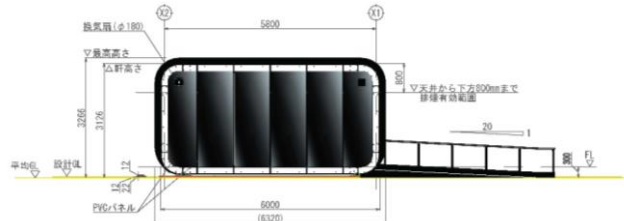
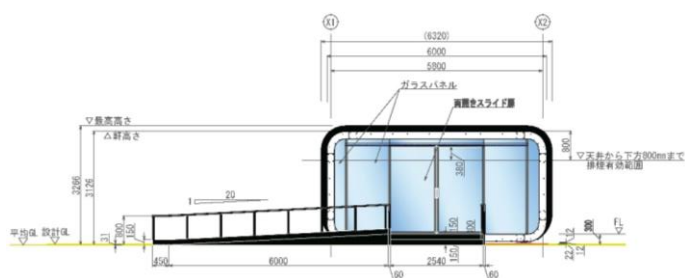
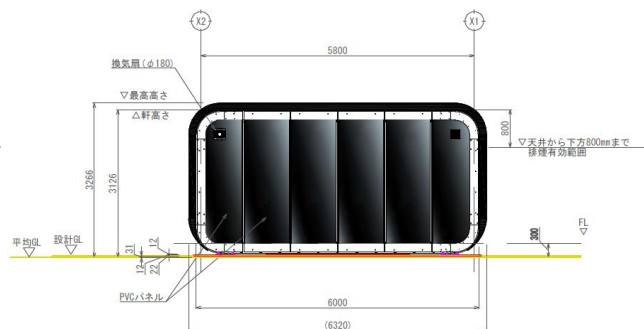
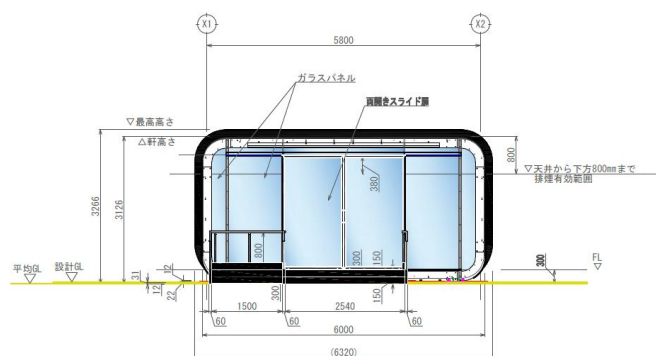
2)施設図面

2. 体験イベントブースエリア

断面図



利用可能スペース



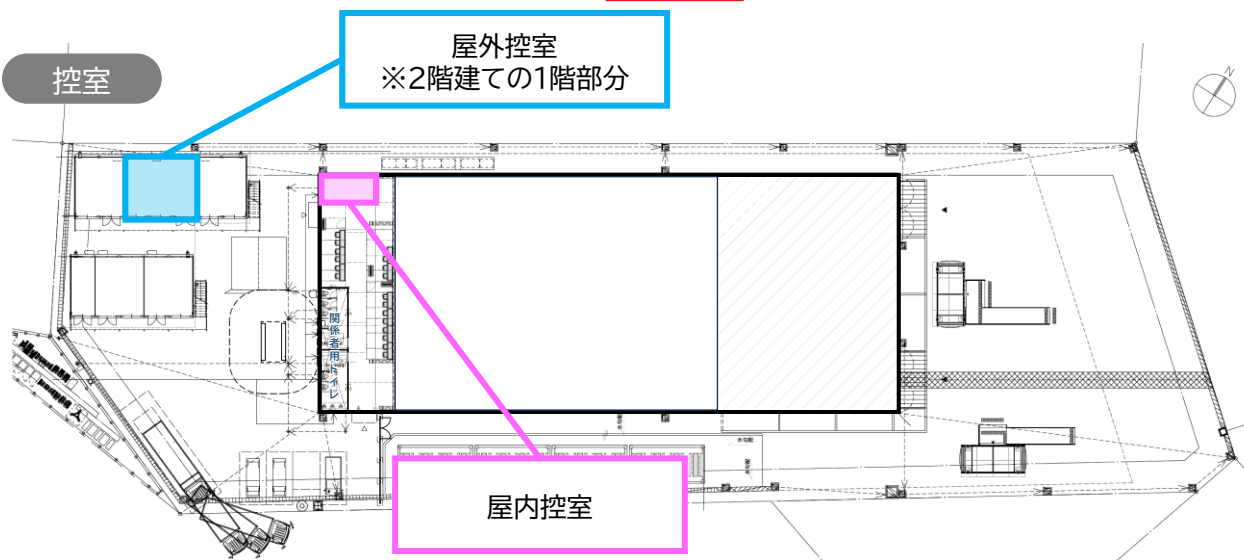
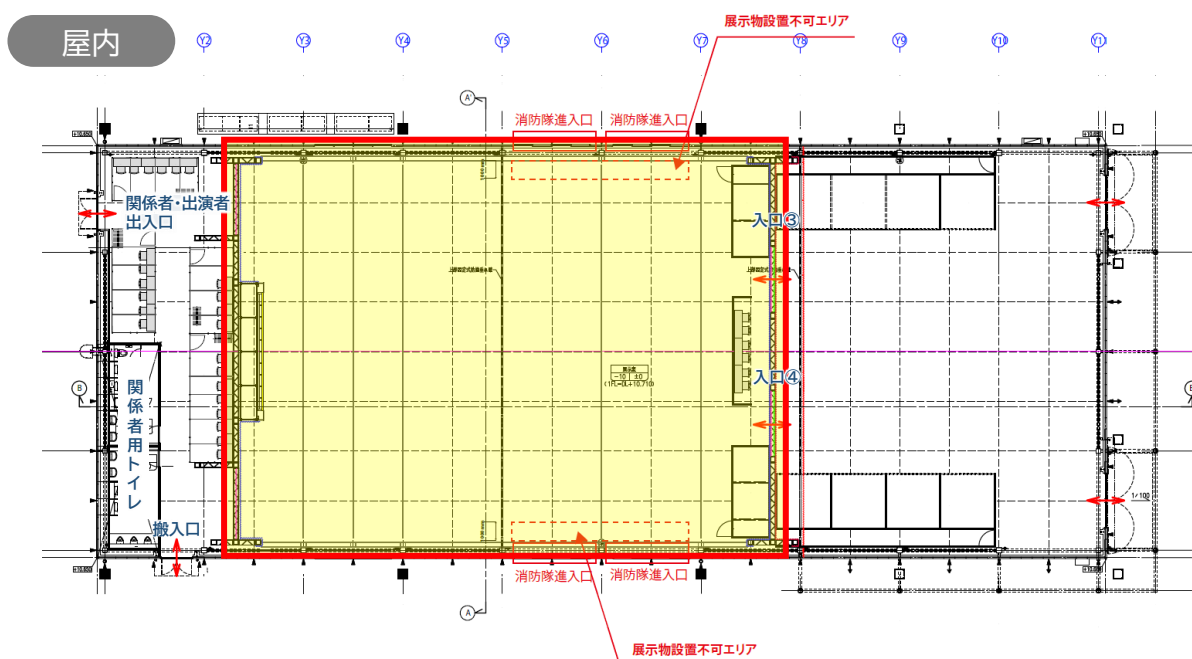
名称	両開きスライド扉
外観図	

3)使用可能スペース

1.屋内イベントスペース

1. 使用可能場所・スペース

フェスティバルステーションで実施する催事で使用できるエリアは、下記図面の赤枠部分です。
催事エリア内であれば、物販で使用するエリアに制限はありません。
ただし、展示場内は飲食販売に制限があるので、ご注意ください。



2. 会場利用方法

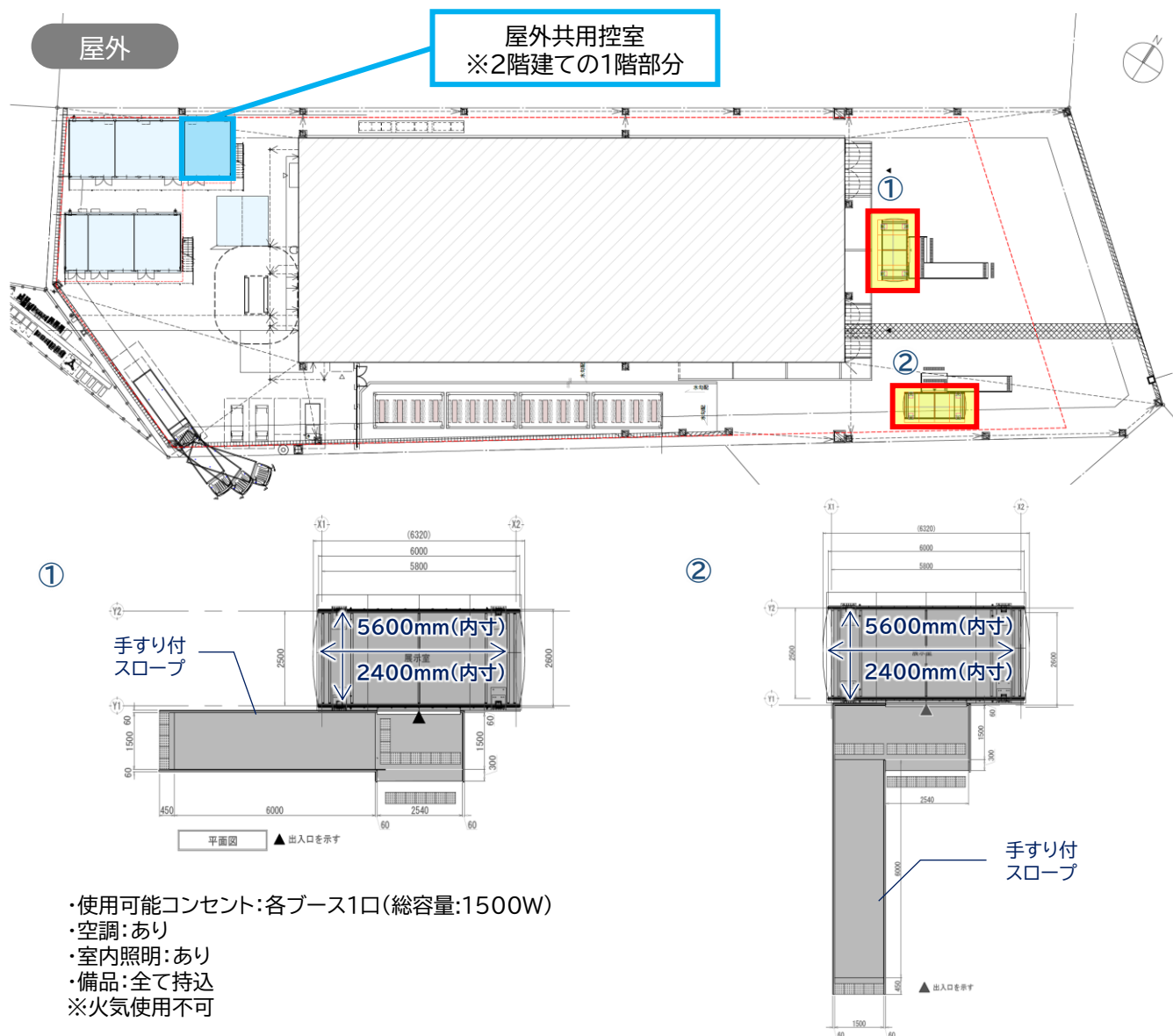
- ・本施設では、同敷地内で複数の主催者が出展を行うため、互いに配慮し合って施設を利用してください。
(搬出入や各種運営等で、調整を行う可能性がございます)
- ・関係者トイレについても、同敷地内の複数の主催者で共用となりますので、ご注意ください。
- ・客席エリア後方(ホワイエエリアとの境界)はトラスにバルベットを設置した仮設の仕切り(天井から約2mは空いている状態)であり、ホワイエエリアと相互に音の干渉があり得ますので、ご注意ください。

3)使用可能スペース

■2.体験型イベントブース

1. 使用可能場所・スペース

フェスティバルステーションで実施する催事で使用できるエリアは、下記図面の赤枠部分です。
使用可能場所・スペース内であれば、物販で使用するエリアに制限はありません。
ただし、展示場内は飲食販売に制限があるので、ご注意ください。



※モジュールの外観装飾は不可。設置物は利用可能敷地内であれば設置可能。
但し、サインは自立型で転倒防止対策を徹底し、デザインと併せて事前にご相談ください。

2. 会場利用方法

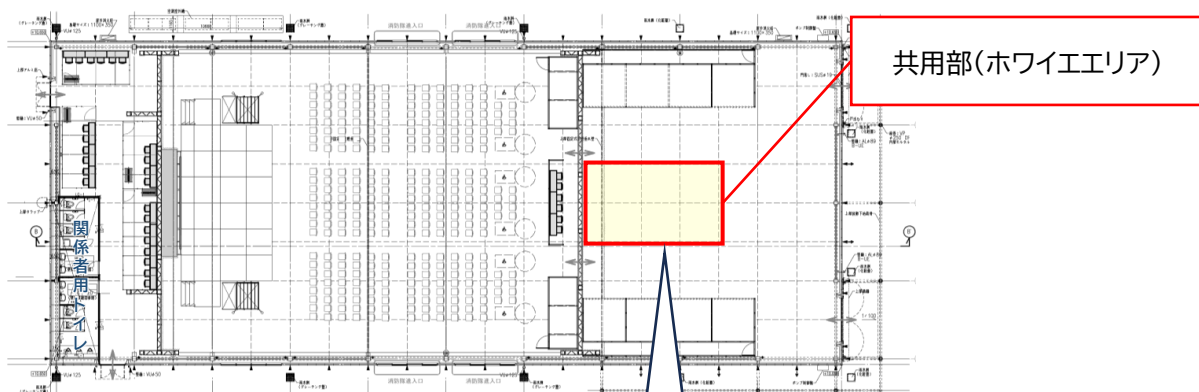
- ・本施設では、同敷地内で複数の主催者が出展を行うため、互いに配慮し合って施設を利用してください。
(搬出入や各種運営等で、調整を行う可能性がございます)
- ・関係者トイレについても、同敷地内の複数の主催者で共用となりますので、ご注意ください。
- ・施設利用者共用控室がございます。

3)使用可能スペース

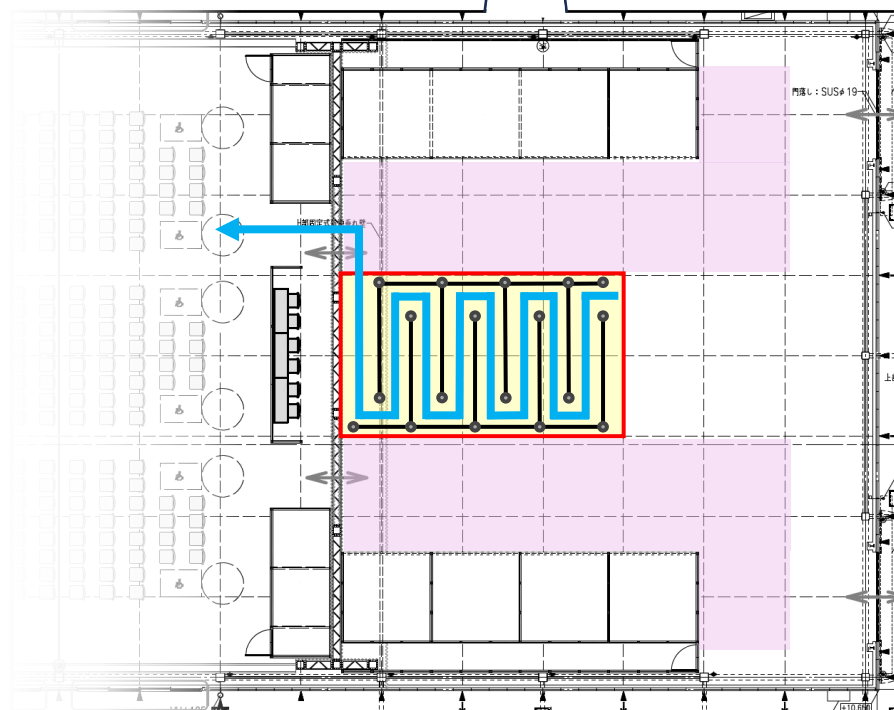
■1. 屋内イベントスペース

3.共用部について

フェスティバル・ステーションで実施する催事で共用部として使用できるエリアは、下記図面の赤枠部分です。共用部については、**屋内イベントスペース**の待機列形成などにご利用いただくことが可能です。また、共用部に関しては、来場者動線の確保が必要です。



共用部で待機列を形成する場合



※他出展者によるブース前のスペースは確保してください。

共用部
 ●—● ベルトパーテーション等
— 形成列・動線

3)使用可能スペース

■1. 屋内イベントスペース

4. 観覧席の設置基準について

客席の基準は、火災予防条例第48条に定められており、その中で避難通路に対する席数の数や、避難通路の幅などが規定されています。

客席の基準の概要を図1、図2に示します。

○火災予防条例第48条(抜粋)

4 客席の避難通路は、次によること。

イ いす席を設ける客席の部分には、横に並んだいす席10席(いす背がなくかつ、いす座が固定している場合においては20席)以下ごとに、その両側に幅80cm以上の縦通路を保有すること。ただし、5席(いす背がなく、かつ、いす座が固定している場合においては10席)以下ごとに縦通路を保有する場合にあっては、片側のみとすることができる。

ロ いす席を設ける客席の部分には、幅1m以上の通路を、各座席から歩行距離15m以下でその一に達し、かつ、歩行距離40m以下で避難口に達するように保有すること。

5 客席の避難通路は、次によること。

イ いす席を設ける客席の部分には、横に並んだいす席の基準席数(8席にいす席の間隔が35cmを超える1cmごとに1席を加えた席数(最大20席))以下ごとに、その両側に縦通路を保有すること。ただし基準席数 $\times 1/2$ の席数以下ごとに縦通路を保有する場合にあっては、片側のみとすることができる。

ロ イの縦通路の幅は、0.6cmに当該通路のうち避難の際に通過すると想定される人数が最大となる地点での当該通過人数を乗じて得た幅員(以下「算定幅員」という。)以上とすること。ただし、当該通路の幅は、80cm(片側のみがいす席に接する縦通路にあっては、60cm)未満としてはならない。

ハ いす席に設ける客席の部分には、縦に並んだいす席20席以下ごとに、及び最下階にある客席の部分の最前部に算定幅員以上の幅員を有する横通路を保有すること。ただし、当該通路の幅は1m未満としてはならない。

図1 いす背間隔と座席の幅

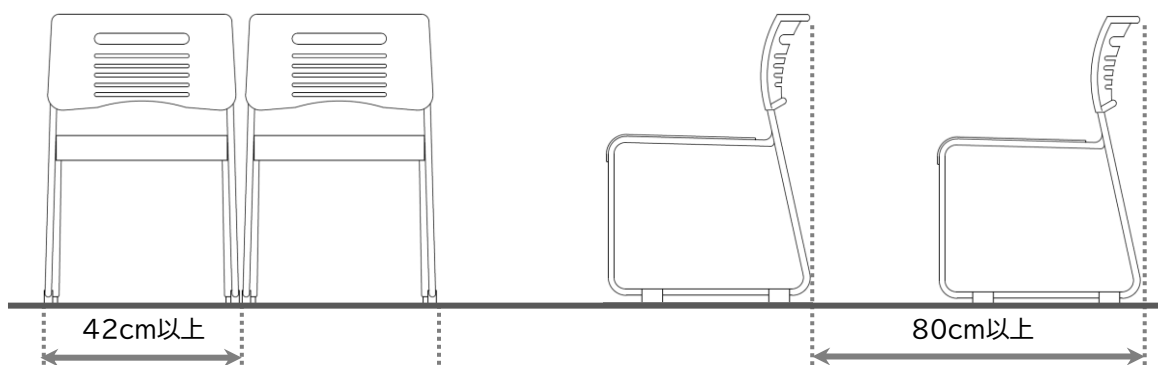
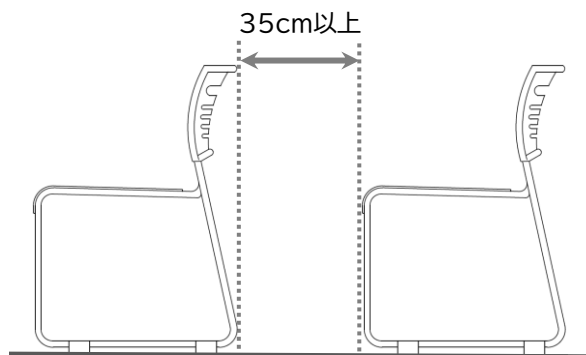


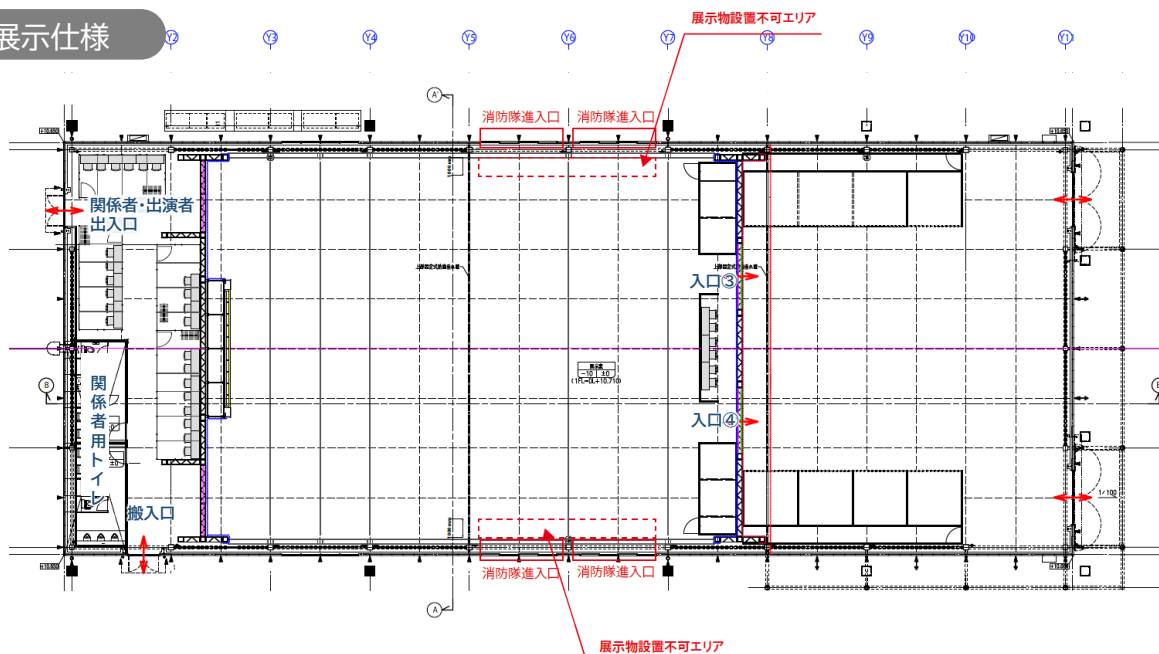
図2 いす席の間隔



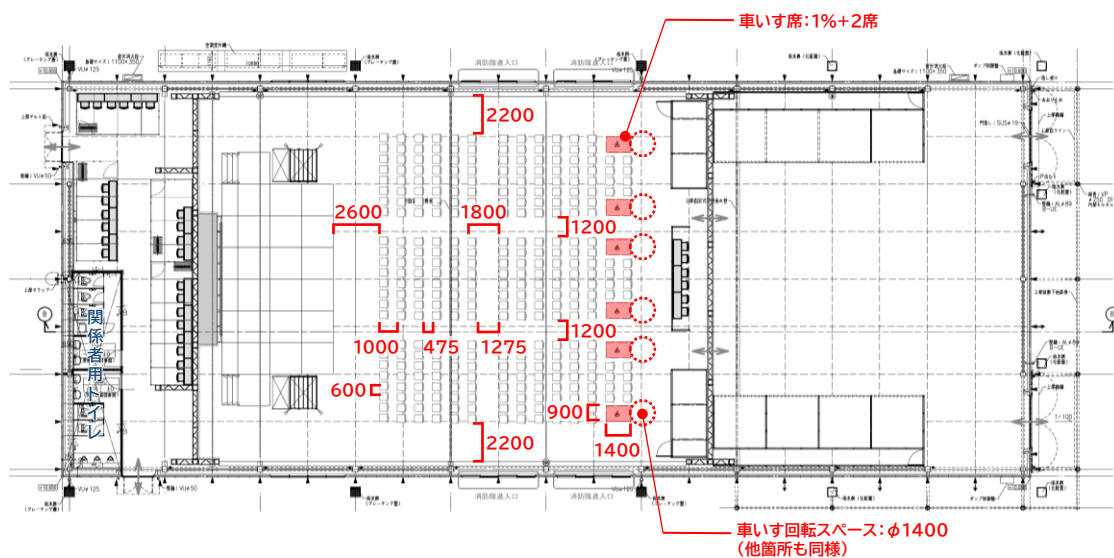
4)レイアウト例

■1. 屋内イベントスペース

展示仕様



ステージ仕様



区分	形状	一般席
ステージ仕様	稼働式	最大336席 (内24席分のスペースを車いす 6台分の席として使用)

1. 注意事項

- 必ず避難動線を確保した会場設計を行ってください。催事種別ごとに避難動線は異なります。消防に確認のうえ、会場設計を調整してください。
- 一部時間帯で「休憩所」として客席を開放する可能性あり、本番/リハーサル/設営等の時間は個別にご相談、ご調整させていただく場合がございます。

5) ステージエリア概要

1. 仮設ステージについて

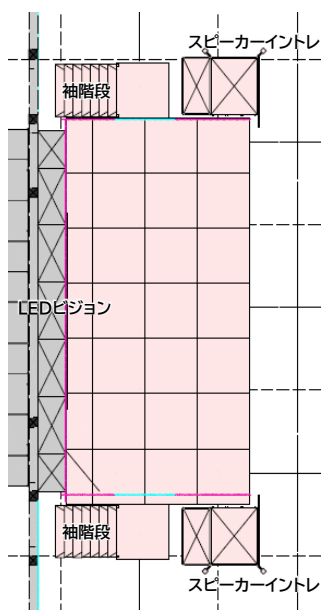
会場附帯設備の仮設ステージ及びLEDビジョンなどをご利用いただけます。

使用用途に合わせ、ステージサイズの調整が可能です。

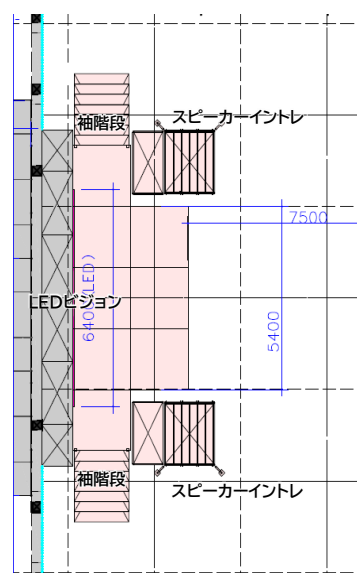
※会場附帯設備のステージを使用しない場合や、基本位置から移動させて使用する場合は、撤去・レイアウト変更作業や原状回復作業に関わる費用を催事主催者にご負担いただきます。

平面図

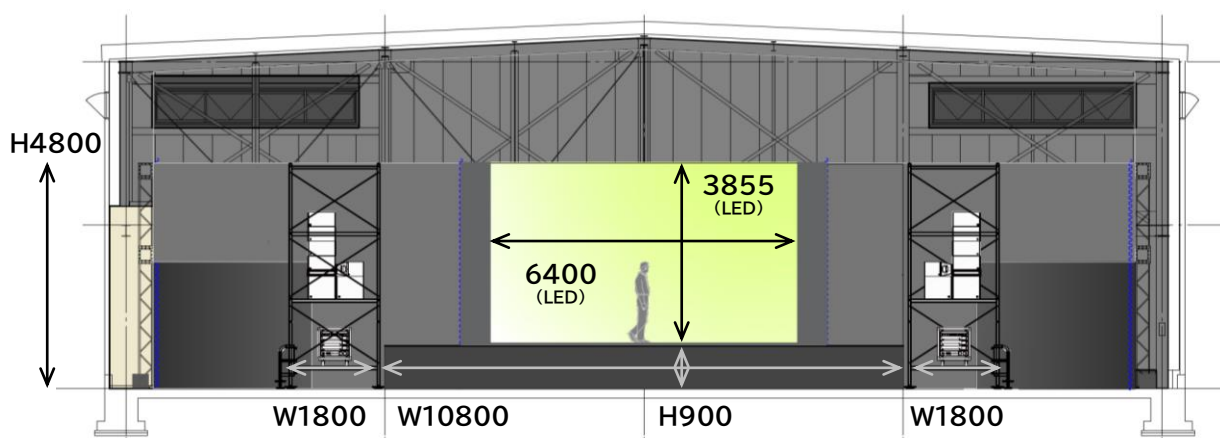
フルサイズ



利用例)ミニサイズステージ



正面図



※フルサイズの場合

2. ステージ仕様

・ ステージサイズ：約79㎡(横10.8m×奥行6.3m)程度 ※LEDビジョン設置部分を含む。

・ ステージ高：0.9m

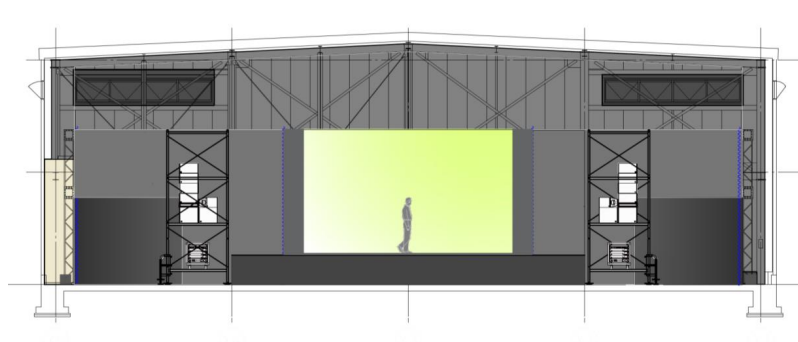
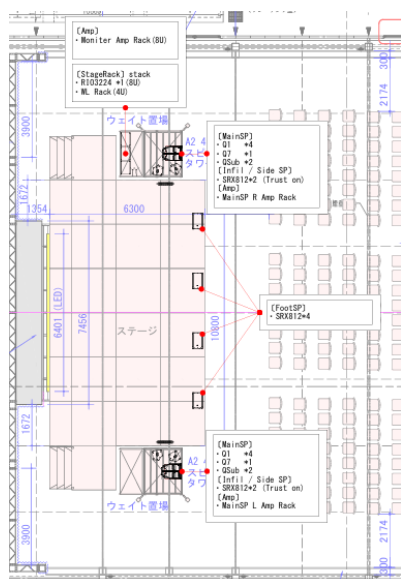
・ ステージ天板～上部トラス：約4mを想定

※LEDビジョン及び、音響、照明機器などの基本設備あり(資料投影・映像上映が可能)

6) 施設常設設備・備品

- 一覧に記載がある常設設備・備品については、無料で使用できます。
- 一覧表に記載が無い機材・機器が必要な場合は、催事主催者をご用意ください。
※追加機材・機器・技術/運営スタッフの手配時の参考となるサプライヤーリストを発出する予定です。
(リストに掲載されていない事業者への発注も可能です)
- 館内放送設備の利用を希望される場合、個別打合せにて詳細ご案内します。
- 音響設備、照明設備、映像設備、舞台設備を基本プラン以外のセッティングで使用する場合には、催事主催者が基本プランからの変更作業および原状回復に関わる作業を行ってください。
(作業を催事管理センターに依頼する場合は、別途費用が発生します)

音響基本プラン



※2025年2月現在。今後変更になる場合がございます。

6)施設常設設備・備品

1. 音響設備 一覧

No	音響設備一覧	仕様	数量	備考
1	デジタル・ミキシングコンソール	QL5(YAMAHA)	1台	
2	オーディオプレーヤー	SS-CDR250(TASCAM)	4台	
3	フロントスピーカー	Q1(d&b Audiotechnik)	8台	
4	リップフィルスピーカー	Q7(d&b Audiotechnik)	2台	
5	フロントスピーカー	Q-SUB(d&b Audiotechnik)	4台	
6	パワーアンプ	D12(d&b Audiotechnik)	4台	
7	モニタースピーカー	SRX812 Passive(JBL PROFESSIONAL)	8台	
8	小型スピーカー	MS101-4(YAMAHA)	4台	
9	ワイヤレス受信機	ULXD4Q(SHURE)	2台	
10	ハンドヘルド型送信機	ULXD2/SM58(SHURE)	8台	
11	タイピン型送信機	ULXD1(SHURE)	8台	
12	WLラベリア用Pinマイク	ME2(SENHEISER)	8本	
13	ヘッドセットマイクロホン	TH53T/O-MTQG(SHURE)	8台	
14	ダイナミックマイク	SM58-LCE(SHURE)	10本	
15	ダイナミックマイク	SM58SE(SHURE)	5本	
16	ダイナミックマイク	SM57-LCE(SHURE)	10本	
17	ダイナミックマイク	Beta57A-J(SHURE)	10本	
18	ダイナミックマイク	MD421-II(SHURE)	4本	
19	ダイナミックマイク	Bate52A-J(SHURE)	1本	
20	ダイナミックマイク	Bate91(SHURE)	1本	
21	ダイナミックマイク	e904(SENHEISER)	3本	
22	コンデンサマイク	C451(AKG)	8本	
23	コンデンサマイク	C414 XLS-Y4(AKG)	2本	
24	コンデンサマイク	4099-DC-1-10-1-P(DPA)	2セット	
25	4099用アタッチメント	Vn*2、Vc*1、Tp*1、Ba*1、Sax*2(DPA)	1式	
26	コンデンサマイク	MX418/C-X(SHURE)	2台	
27	コンデンサマイク	C-38B(SONY)	1台	
28	ダイレクトBOX	J48(RADIAL)	6台	
29	ダイレクトBOX	PCDI(whirlwind)	2台	
30	メインステーション	MS-702(Clear Com)	1台	
31	スピーカーステーション	KB-702(Clear Com)	6台	3台OPブースに設置
32	ベルトパック	RS-701(Clear Com)	10台	
33	ヘッドセット	CC-100(Clear Com)	16台	3台OPブースに設置

※2025年2月現在。今後変更になる場合がございます。

6) 施設常設設備・備品

2. 照明設備 一覧

No	照明設備一覧	仕様	数量	備考
1	ムービングライト	NEPTUNE300WBS(SILVER STAR)	15台	
2	LEDスポットライト	Super SOLAR2ze/ETZ MK4(SILVER STAR)	12台	
3	LEDカッタースポット	ECLIPSE PRIME HEX(SILVER STAR)	10台	
4	上記用レンズ	ECLIPSE 750/1000-36°レンズ(SILVER STAR)	10台	
5	ブラインダー	Blinder II IP(EK-PRO)	9台	2台1セット
6	LEDスポットライト	BOLD 360/90(TSJ)	16台	
7	LEDバーライト	Lite Bar Pro(EK-PRO)	10台	
8	照明卓	Arena(AVOLITES)	1台	
9	アクセサリ類	ハンガー、スタンド、操作棒 等	1式	

※2025年2月現在。今後変更になる場合がございます。

ステージ仕様照明基本プラン

カッタースポット
ライト

ウォッシュライト



スポットライト



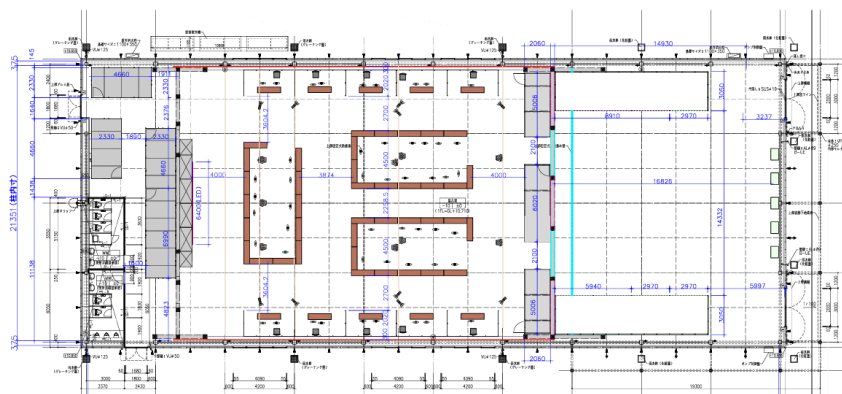
ムービングライト

ブラインダー
ライト

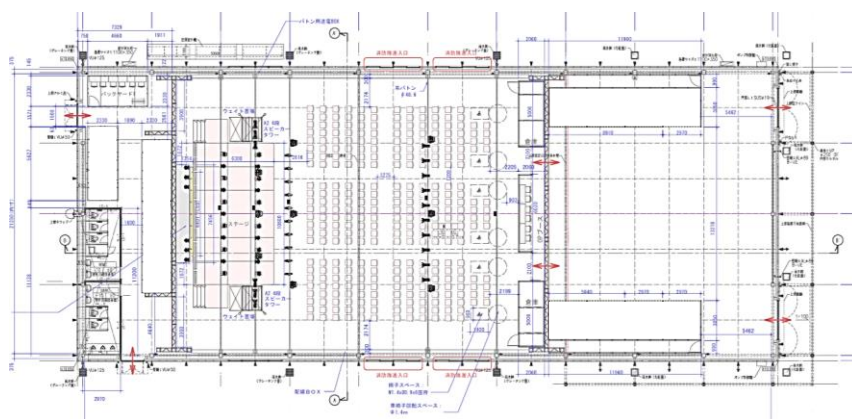
バーライト



展示仕様



ステージ仕様



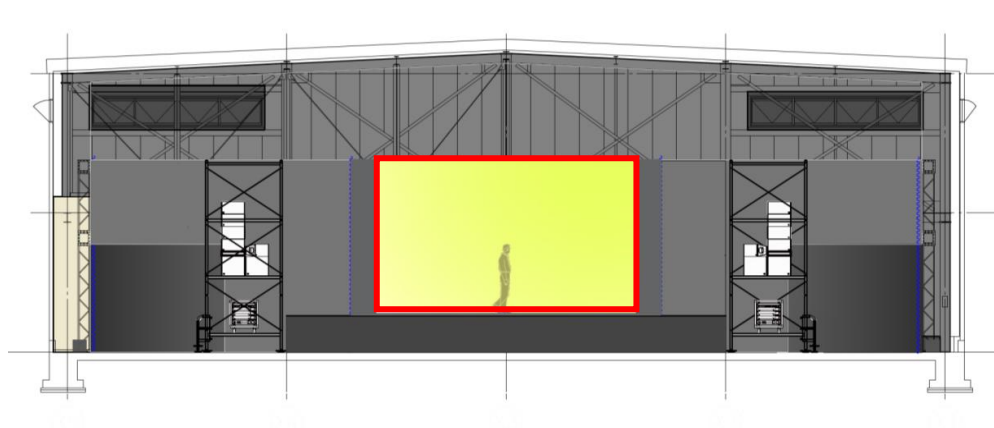
6) 施設常設設備・備品

3. 映像設備 一覧

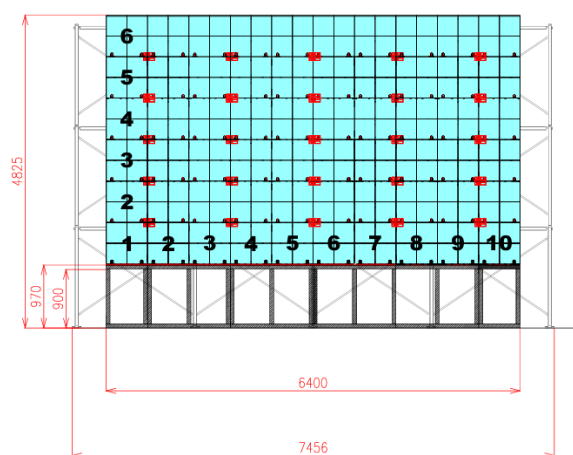
No	照明設備一覧	仕様	数量	備考
1	LEDビジョン	W800px×H480Px ※スクーラー機能によりW1920px×H1080px標準設定	1式	300インチ、8mmピッチ
2	LEDコントローラー	HLC-2K(HIBINO)	1台	
3	ビデオスイッチャー	V-160HD(ROLAND)	1台	24型モニター付
4	iPad	PRO 11Inch(Apple)	1台	
5	ノートPC(office付)	L5-I7U01BK-B(MOUSE PRO)	4台	
6	ビデオレコーダー	Hyper Deck studio HD Mini(BMD)	1台	
7	4Kメディアプレイヤー	xPressCue(TechnoHouse)	2台	
8	ミキサー	ZED-16(Allen&Heath)	1台	
9	ビデオスイッチャー	V-600UHD(ROLAND)	1台	仮設用、24型モニター付
10	ノートPC(office付)	L5-I7U01BK-B(MOUSE PRO)	1台	仮設用
11	小型モニターディスプレイ	LCD1560S(AD-TECHNO)	3台	仮設用
12	モニターディスプレイ	PN-HS431(SHARP)	2台	仮設用

※2025年2月現在。今後変更になる場合がございます。

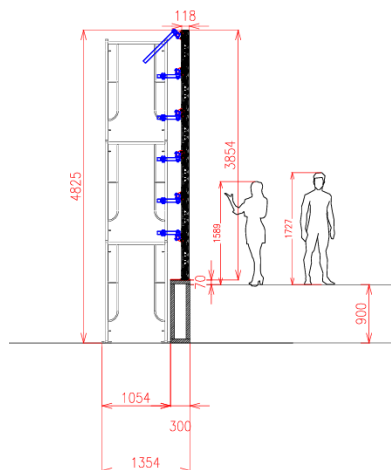
映像基本プラン



正面



断面



6) 施設常設設備・備品

4. 備品 一覧

※備品内容は2025年2月現在。今後変更になる場合がございます。

■1. 屋内イベントスペース

No	備品	仕様	数量	備考
1	座席用スタッキングチェア		350 脚	基本形312席分+予備38
2	椅子収納用台車		1 台	
3	消火器(OPブース)		1 本	
4	消火器(ステージ)		1 本	
5			台	
6			台	
7			台	
8			台	

■2. 体験型イベントブース

No	備品	仕様	数量	備考
1	A型看板	※調整中	台	
2	空調設備(エアコン)	8畳用	2 台	※各ブース1台、計2台
3			台	
4			台	
5			台	

5. 運営備品 一覧

※備品内容は2025年2月現在。今後変更になる場合がございます。

■1. 屋内イベントスペース

No	備品	仕様	数量	備考
1	手押し台車	W600×長さ900／ブレーキ付き	2 台	
2	チェーンパーテーション スタンド	H837、ベース径255、白、満水時3.3kg	80 本	
3	チェーンパーテーション チェーン	120m	80 式	
4	姿見		1 台	
5				
6				
7				
8				
9				
10				

■2. 体験型イベントブース

なし

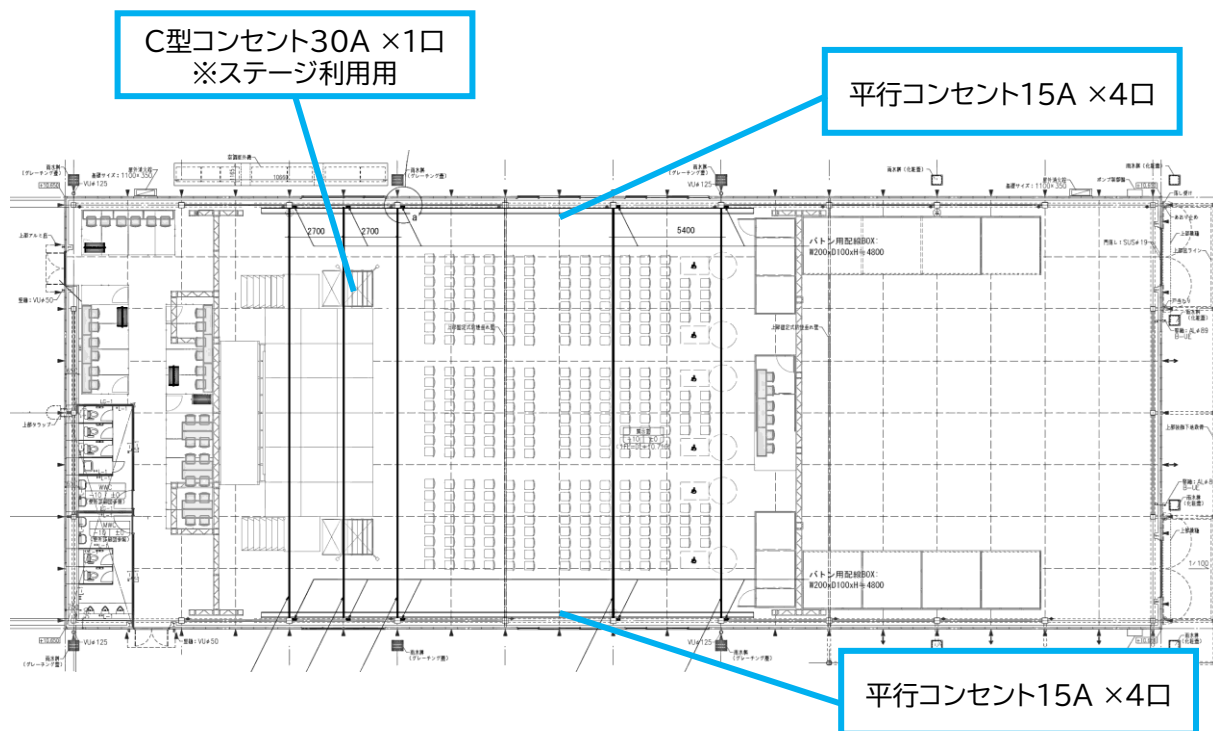
7) 仮設電源設備

1. 仮設電源設備および仕様一覧

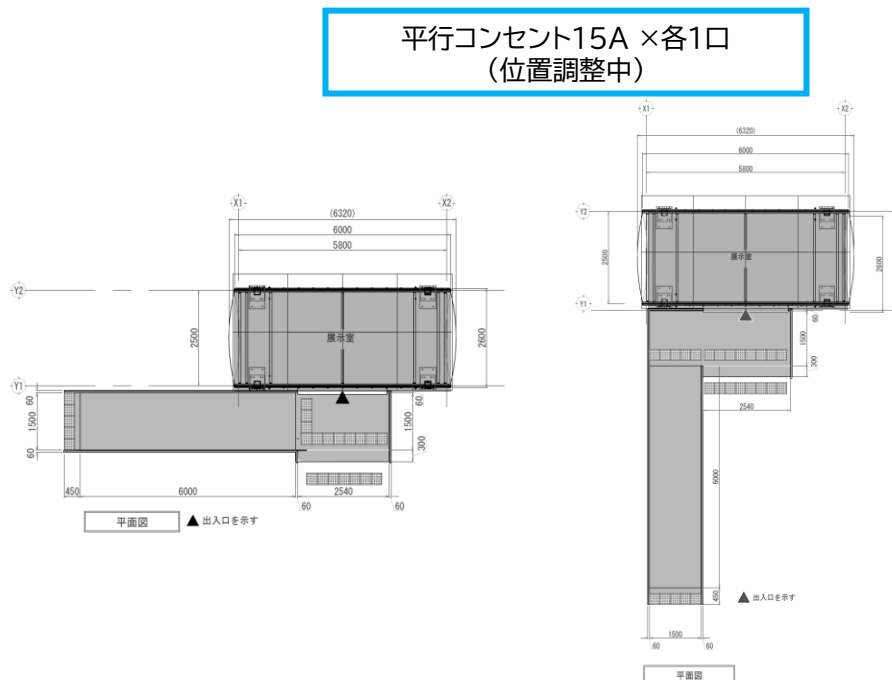
準備、運営を通じて持続可能性の実現を目指す大阪・関西万博では、発電機や電源車の持ち込みを禁止しています。催事で使用する電力は、原則、施設内の電源容量内に収めてください。

※常設の電気容量で賄えない催事を企画の場合は、別途ご相談をお願いします。

■1. 屋内イベントスペース



■2. 体験型イベントブース



8)通信環境

1. 使用可能なインターネット回線

- ・催事施設に常設のインターネット回線の使用が可能です。
使用するには、事前に「インターネット使用申し込み書」の提出が必要です。
- ・催事施設に常設のインターネット回線(建物全体共用回線)は、関係者のみ利用いただけます。
使用には、プロバイダー契約や公衆無線LAN契約は必要ありません。
- ・使用可能なインターネット環境は下記の2種類です。
 - ①Wi-Fi接続 : 常設
 - ②有線LAN接続 : LANケーブルは催事主催者にてご用意ください。

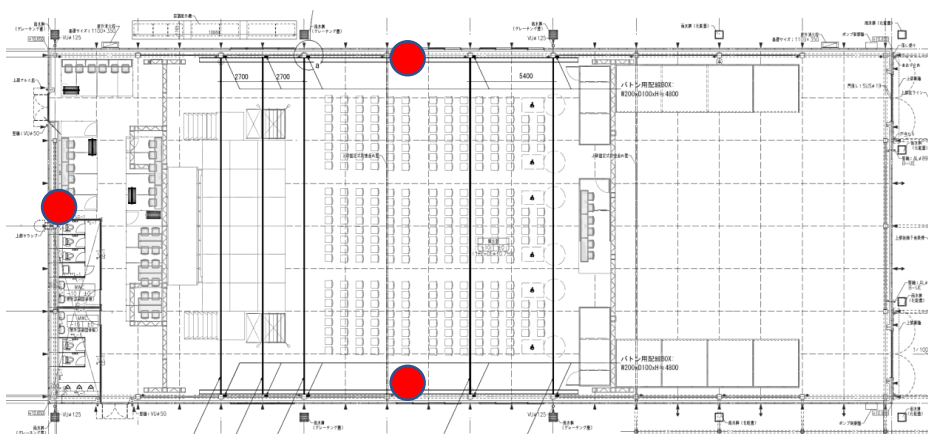
※回線数、通信速度、Wi-Fiのカバーエリア、有線LANの取り口位置などの詳細については調整中です。

※演出や配信には別途臨時回線の契約をお勧めします。

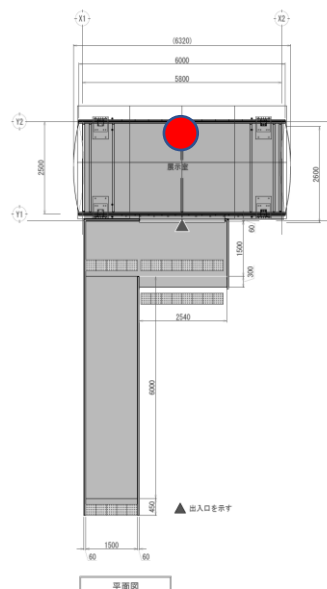
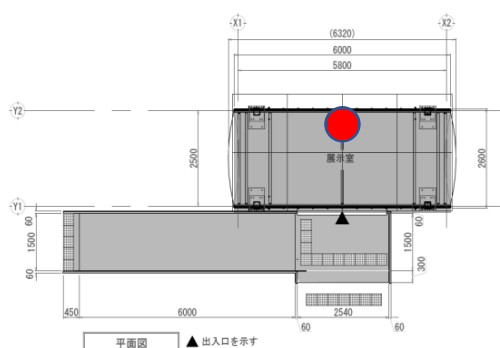
回線の追加を希望される場合は、催事主催者の費用負担で別途工事が必要です。会場の特性上、実施数か月前の申し込みが必要となることが想定されます。

● アクセスポイント位置

屋内イベントスペース



体験型イベントブース



9) 利用料金

1. 施設利用料金

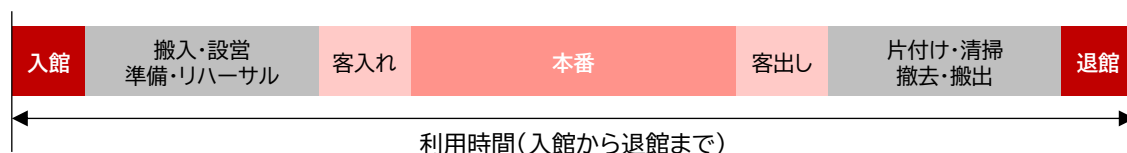
- ・利用申し込み時間に応じた施設利用料金および共益費の全額を、事前にお支払いいただきます。
 - ・催事主催者都合で利用をキャンセルされた場合は、施設利用料の返金はできません。
- ※キャンセルポリシー、支払時期については別途(利用規約にて)ご案内いたします。

施設名	利用区分		催事施設利用料金(税込)	時間外利用料金(税込)
			基本利用時間 9時～21時	0時～9時 21時～24時
			12時間	1時間ごと
フェスティバル・ステーション (1. 屋内イベントスペース)	1日	9時～21時	100,000円	11,000円
フェスティバル・ステーション (2. 体験型イベントブース)	1日	9時～21時	40,000円	3,000円

※施設利用料金には、会場使用料、附帯設備・備品の使用料が含まれます。
(一部、有料となる設備、備品がございます。)

催事施設利用時間

- 催事施設の基本利用時間は、9時～21時の間です。
- 利用時間は、すべての関係者の入館から退館までの時間を含みます。

最大利用時間
について

- 時間外利用を含む最大利用時間は、利用申し込み初日の0時から最終日の24時までです。
- 原則、催事終了後は24時までの完全退館をお願いします。※申し込み日程を超えた利用はできません。

項目	項目詳細	施設名	基本利用時間 (9-21時) 料金(税込)	時間外 (0-9時、21-24時) 料金(税込)
共益費	電気・水道・ネット回線、博覧会協会が加入する保険の案分負担(PL保険※生産物賠償責任保険を除く)、楽屋(付帯設備含む)の使用に係る費用。	フェスティバル・ステーション (1. 屋内イベントスペース)	88,530円 ／12時間	6,000円 ／1時間毎
	※使用する範囲に関わらず一律でお支払いいただきます。 ※保険内容の詳細については、別途ガイドにてご案内いたします。	フェスティバル・ステーション (2. 体験イベントブース)	3,480円 ／12時間	300円 ／1時間毎

・催事の内容によって、会場内でゴミを処理する場合のゴミ処理料、商業活動に伴うロイヤリティなどの費用が発生します。

2. その他費用①

項目	項目詳細	単価(税込)
(1. 屋内イベントスペースのみ) 持ち込み機材 電気使用料	音響、照明、映像機器、特殊機器などの持ち込み機材の電気使用に係る費用。	66円/kwh ※機材の電気容量× 施設の利用時間

9)利用料金

3. その他費用②

※「1. 屋内イベントスペース」、「2. 体験型イベントブース」共通

時間外の催事施設利用には、時間外利用料・共益費に加えて、施設管理に関わるスタッフ時間外人件費が発生します。

➤ 施設スタッフ 時間外人件費（主たるもの）

	項目	時間外利用時料金(税込)		
		0:00～7:00		7:00～9:00 21:00～24:00
		3時間まで 基本料金	4時間目以降 1時間ごと	
①	催事調整担当ディレクター (1名)	27,500円	6,600円/1h	6,600円/1h
②	施設管理者 (1名あたり)	27,500円	6,600円/1h	6,600円/1h
③	施設管理ディレクター (1名)	22,000円	4,950円/1h	4,950円/1h
④	テクニカルスタッフ (1名あたり)	22,000円	4,950円/1h	4,950円/1h
⑤	設営・撤去スタッフ (1名あたり)	16,500円	3,300円/1h	3,300円/1h
—	深夜宿泊交通費	0:00～7:00 、 23:00～24:00		
		追加料金 23,000円/人		

※①については、催事主催者のすべての作業時間にかかります。

※②については、催事主催者の作業内容に応じて必要な人員を必要な時間配置します。

※③については、催事主催者の作業内容に応じて必要な時間配置します。

主に、控室管理やバックヤードでの備品貸し出しなどを担当するスタッフです。

※④⑤については、常設設備の仕込み替えなどが発生した場合に、必要な人員を必要な時間配置します。

➤ 施設警備員 時間外人件費

	項目	料金(税込)	
		0:00～8:00	22:00～24:00
①	施設警備員 (1名あたり)	55,000円 (最低保証8時間分)	55,000円 (最低保証8時間分)
—	深夜宿泊交通費	0:00～7:00 、 23:00～24:00	
		追加料金 23,000円/人	

※施設警備員については、時間によって1ポスト2名の場合と1ポスト1名の場合がございます。

※8:00～22:00の時間帯は施設警備員の基本配置があるため追加人件費は発生しません。

●9:00～21:00の基本時間内に設営・撤去を行う場合でも、催事内容によって、常設設備の仕込み替え(ステージ、テクニカルなど)など、催事管理センターの人員増が必要となった場合は、追加人件費が発生します。催事の仕込み内容などの詳細が決まりましたら、催事管理センターへご相談ください。